



令和5年6月30日  
内閣府沖縄担当部局

## 令和5年度北部振興事業の実施について（第3回）

### 1. 事業の概要

北部12市町村等の要望に基づき、産業の振興、定住条件の整備に資する事業を実施。

### 2. 今回配分の状況（国費ベース）

#### 非公共事業

継続 6 事業  
新規 3 事業

今回配分額 14.5 億円

※詳細は別添資料のとおり

#### （参 考）

##### <予算計上>

- 沖縄北部連携促進特別振興事業費（非公共事業） 令和5年度予算額44.5億円  
・補助率：8／10

##### <今回の配分の考え方>

- 沖縄県の均衡ある発展を図る観点から北部地域の振興に資する事業に対し配分する。
- 配分対象の事業は、北部12市町村から北部地域の振興に資するものとして要望されたもの。

#### \* 問合せ先 \*

政策統括官(沖縄政策担当)付  
(担当 鈴木、加藤)  
電話 03-6257-1693

## 令和5年度に実施する振興事業について

令和5年6月30日

## 【非公共事業】

テーマ：産業振興のための整備

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
名護漁港浮棧橋整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和5年度	398百万円 (319百万円)
<p>名護市は沖縄県北部に位置し、豊かな自然の象徴である名護湾を活用したまちづくりを推進するため、名護漁港周辺を対象エリアとした様々な施策を展開している。</p> <p>那覇～名護間を結ぶ高速船の運航に伴い、多様な移動手段の一つとして利用が期待できる。また、名護湾を活用した新たなイベント等で本市への観光客の流入も期待できる。しかし、名護漁港内では船への乗降手段としては、岸壁へ船を横付けし、乗り降りしており、潮の干満により、船への乗降が安心・安全に行えず、利便性に支障をきたしている。</p> <p>浮棧橋を整備することにより、高速船への乗降の安全性、利便性の向上を図り、観光客や地域住民等への高速船利用を促進し、北部圏域全体の観光振興や活性化に寄与する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
伊平屋村米崎海浜公園機能強化整備事業 (伊平屋村)	令和4年度 ～ 令和8年度	164百万円 (132百万円)
<p>伊平屋村米崎海浜公園「いへや愛ランドよねざき」は、透明度が高く美しいビーチに囲まれ、海水浴やマリナクティビティといった海洋レジャーに加え、ビーチの目の前でキャンプが楽しめる村内有数の人気観光スポットである。しかし、近年、3密の回避といった新型コロナウイルス感染症等の社会情勢に起因する価値観の変化や、繁忙期におけるキャパシティ不足、海浜公園特有の塩害等を受け、施設の魅力や利便性の低下がみられることから、観光拠点である米崎海浜公園に所在する施設の改修・新設等により施設機能の強化を行い、安全・安心で持続可能かつ魅力ある観光地形成を図る。</p> <p>当事業によって、ブルーツーリズム・ウェルネスツアー等の新たな体験プログラムの実施が可能となり、利用客の増加に伴う村内の産業振興や、沖縄県北部地域の離島周遊による観光客偏在の解消等を通じて、北部地域全体の発展に寄与するものである。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
伊江島蒸留施設機能拡充事業 (伊江村)	令和4年度 ～ 令和5年度	130百万円 (104百万円)
<p>伊江島蒸留所は、伊江島唯一の酒造所として、島内で栽培されたサトウキビのみを原料としてラム酒を製造しており、酒類品評会にてベストジャパニーズラム・オブ・ザ・イヤ―を受賞する等、その評価及び知名度が高まっているところである。他方、本蒸留所はバイオマスエタノールプラントを転用した施設であり、工場が手狭で生産能力に限界があるため、新規引き合いによる需要増に応えられていない。観光面においても、製造工程の見学スペースがなく、また試飲・販売所が事務所の一角を間借りしており、手狭である等の問題がある。</p> <p>このため、蒸留設備を拡充して生産能力を増強し、見学スペースや試飲・販売所を新設して観光客の利便性や満足度を向上させることにより、村内の産業振興・観光振興を通じ、沖縄県北部地域の周遊促進・偏在解消に資するものである。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
本部港（渡久地地区）水産整備事業 (本部町)	令和4年度 ～ 令和7年度	505百万円 (404百万円)
<p>本部港（渡久地地区）は、本部町が進める“みなとまちづくり”構想に位置付けられており、渡久地港の水産業は、沿岸漁業である「カツオ、ソデイカ等」と養殖漁業「もずく、クロマグロ等」が中心となっている。</p> <p>現荷さばき地は、漁具や台船置き場と共用しているため、作業スペースが制限され、セリや水揚げなどの作業に支障をきたしている。</p> <p>物揚場は、水面との高低差が大きく、荷積みや水揚げ作業時には転落等の危険をはらんでいる。</p> <p>よって、本部港（渡久地地区）に浮棧橋と漁具倉庫、屋根施設を整備することで、本部港（渡久地地区）の用地・水域を効率的に活用するとともに、作業環境を改善し、水産業の振興を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

## 〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
結の浜海浜公園整備事業 (大宜味村)	令和5年度 ～ 令和7年度	59百万円 (47百万円)
<p>結の浜は、ダム建設時の残土を利用して平成19年に竣工した比較的新しい公有埋立地であり、ごく近傍には、遊泳水域が穏やかで非常に高い透明度の海水と長いリーフを特徴とし、子供から大人まで安全に楽しめる良質なビーチが所在している。しかし、当地はシャワーやトイレといった基本的な設備がなく、またビーチと一体となった海洋レクリエーション機能が未整備であるため、観光客にとっては利用しづらく、その誘致にあたってきわめて不利な状況下にある。</p> <p>そこで、結の浜をシャワー・トイレや炎天下の日除けとなる東屋、駐車場を備えた海浜公園として整備し、利便性の抜本的な改善を図る。さらに、ビーチスポーツを始めとするマリンスポーツが可能となる施設を併設することにより、当地を目的地として滞在する観光客への訴求力を高め、魅力ある観光地の形成を行うとともに、沖縄における観光客偏在の解消を通じて、北部地域全体の発展に寄与する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

## 〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
国頭村森林公園機能強化事業 (国頭村)	令和5年度 ～ 令和7年度	19百万円 (15百万円)
<p>国頭村森林公園は、昭和62年の開園以来、豊かな自然環境を活かして自然体験型観光や自然体験教育を提供しており、利用者からの評価も高い。また、当地はやんばる国立公園の一部が令和3年7月に世界自然遺産に登録されたことを機に、世界自然遺産地域に隣接する立地を活かし、「世界自然遺産の森」の価値をアピールする役割も担っている。</p> <p>他方、近年は設備の老朽化が進行し、利用者の安全性・利便性が損なわれるとともに、アストロツーリズムの施策展開に伴い、公園内で宿泊可能な施設整備に係る強い要望がある等、利用者ニーズとの乖離が生じている。</p> <p>そのため、ユニバーサルデザイン対応トイレ・シャワー施設や、研修・宿泊棟の整備等を通じて森林公園全体の機能強化を図り、様々な利用者がより安全・快適に公園施設を利用する機会を提供することで、自然環境保護・保全への理解を涵養し、沖縄県北部地域における観光産業の振興を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

テーマ： 定住条件の整備

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
安和・山入端緑地整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和5年度	255百万円 (204百万円)
<p>沖縄本島北部地域にある名護市西部に位置する安和地区は、近年、少子高齢化が進み人口が20年前より1割少ない水準にあり、定住人口や交流人口の減少が課題となっている。また、安和地区は、名護市街地から離れており、子育て環境や健康増進環境が十分でなく、区内唯一の公園である安和・山入端緑地も利用者のニーズに応えられていない状況である。</p> <p>このため、まちづくりに関するワークショップでの住民意見を基に、スポーツ・レクリエーション機能、健康増進機能を備えた緑地整備を行い、子育て環境や健康増進環境を向上させ、定住人口の増加を図る。</p> <p>また、子育て世代と高齢者などの多世代が交流出来る拠点施設として、健やかな暮らしにつなげ地域の魅力を向上させつつ、他地域のパークゴルフ場と連携した地域間交流や、北部地域の子供会、老人会、観光客等も活用できる交流拠点の場として活用し、定住人口や交流人口の増を目指していく。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
北部地域ラジオ中継局設備機能強化事業 (北部広域市町村圏事務組合)	令和4年度 ～ 令和5年度	263百万円 (211百万円)
<p>沖縄本島北部地域では、中波ラジオ放送の各ラジオ放送本社から遠く離れていることや地形条件により、中波ラジオ放送が良好に受信できない地域が存在したため、難聴解消を図る目的でFM方式による中波ラジオ放送の中継局を設置し、各ラジオ放送本社からの放送回線及び中継局からの放送波にて、北部地域のラジオによる情報伝達媒体を確保している。</p> <p>あらゆる災害にも対応できるよう、各ラジオ放送本社からの放送回線を増設し、中継局設備の機能強化を図る必要がある。</p> <p>本事業により、災害時でも北部地域住民および来訪者へ災害情報や生活情報を安定的に提供できる環境を整備し、本地域の防災強化、安心安全な生活環境基盤を確立し、定住環境の向上に寄与するものである。</p> <p>(担当省庁) 総務省</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和5年度事業費 (うち国費)
伊是名村臨海ふれあい公園 施設機能強化事業 (伊是名村)	令和5年度 ～ 令和7年度	18百万円 (14百万円)
<p>伊是名村臨海ふれあい公園施設は、定住環境の向上・村民の健康増進、地域活性化などを図る目的として平成9年度に供用開始されて以降、村民同士の交流の場として多くの村民に利用されてきた。また、村祭りやスポーツ大会など、村外の方々との交流の拠点として、これまで様々なイベント等に利活用されてきた村唯一の総合型施設である。</p> <p>しかしながら、施設内の一部である体育館の現況は、屋根の破損による雨漏り、躯体壁面の剥離や崩落・遮熱対策の未実施、アリーナ床の破損など、安全性が著しく低下している状況であり、村民の方々からは早期の改修要望もあることから早急に対策を講じる必要がある。</p> <p>今後は、スポーツやイベント・レクリエーションなどを通じた交流の機会がコロナ禍以前に戻る事から、低下した施設機能の強化を実施し、安全で快適な交流の場の形成・定住環境の構築を図る。</p> <p>(担当省庁) スポーツ庁</p>		

# 令和5年度 北部振興事業(非公共)(3次配分)配分事業箇所位置図

